



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 あすか製薬株式会社

コード番号 4514 URL <http://www.aska-pharma.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 長尾 智仁 TEL 03-5484-8366

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,054	3.0	1,872	40.5	1,993	36.9	1,643	28.8
29年3月期第2四半期	24,316	15.2	1,332	135.6	1,455	111.4	1,275	222.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,559百万円 (112.5%) 29年3月期第2四半期 1,204百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	58.35	—
29年3月期第2四半期	45.67	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	67,265	41,966	62.4
29年3月期	66,126	39,511	59.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 41,966百万円 29年3月期 39,511百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.0	2,000	11.5	2,100	4.9	1,800	△38.9	64.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）あすかActavis製薬株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	30,563,199株	29年3月期	30,563,199株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	2,372,185株	29年3月期	2,610,234株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	28,157,045株	29年3月期2Q	27,932,939株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 主力品の売上高	10
(2) 臨床開発状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は250億5千4百万円（前年同期比3.0%増）となりました。利益面につきましては、売上拡大に伴う売上総利益の増加に加えて、研究開発費の一部費用が第3四半期以降にずれ込む等、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益18億7千2百万円（前年同期比40.5%増）、経常利益19億9千3百万円（前年同期比36.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益16億4千3百万円（前年同期比28.8%増）といずれも大幅な増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①医薬品事業

主力品である甲状腺ホルモン剤「チラーヂン」の売上が伸び悩んだものの、オーソライズド・ジェネリック「カンデサルタン類」、LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」等の売上が増加したことに加え、昨年11月に発売した難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」の売上伸長もあり、売上高は227億5百万円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は30億4千万円（前年同期比26.4%増）となりました。

## ②その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器、食品等の各事業を展開しているその他事業の業績は、売上高は23億4千8百万円（前年同期比2.3%増）と前年同期とほぼ同水準となりましたが、販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益は9千6百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億3千8百万円増加し、672億6千5百万円となりました。これは主に現金及び預金等は減少しましたが、受取手形及び売掛金および投資有価証券等が増加したためであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、13億1千6百万円減少し、252億9千8百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金等は増加しましたが、流動負債のその他等が減少したためであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、24億5千4百万円増加し、419億6千6百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加および株価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から2.6ポイント上昇し62.4%となっております。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ16億5千1百万円減少し、131億1千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、7億2百万円（前年同期は48億9千1百万円の増加）となりました。これは税金等調整前四半期純利益および減価償却費の計上や仕入債務およびその他の負債は増加しましたが、法人税等の支払いや売上債権およびたな卸資産が増加したためであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3億7千8百万円（前年同期は2億4千万円の減少）となりました。これは有価証券の償還はありましたが、主に有形固定資産および無形固定資産の取得によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、5億7千万円（前年同期は17億9千1百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の返済および配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,761	13,110
受取手形及び売掛金	9,485	10,960
商品及び製品	6,472	7,285
仕掛品	1,463	1,463
原材料及び貯蔵品	2,748	3,158
その他	2,129	1,887
貸倒引当金	△0	—
流動資産合計	37,059	37,866
固定資産		
有形固定資産	12,829	12,489
無形固定資産	3,491	3,311
投資その他の資産		
投資有価証券	8,714	10,046
その他	4,056	3,576
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	12,746	13,598
固定資産合計	29,067	29,399
資産合計	66,126	67,265
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,309	5,818
短期借入金	1,200	1,200
賞与引当金	1,060	1,091
その他の引当金	351	417
その他	8,332	6,889
流動負債合計	16,253	15,417
固定負債		
長期借入金	2,500	2,125
環境対策費用引当金	820	820
その他の引当金	263	249
退職給付に係る負債	6,685	6,593
その他	92	93
固定負債合計	10,361	9,881
負債合計	26,615	25,298
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	851	851
利益剰余金	37,312	38,732
自己株式	△2,396	△2,277
株主資本合計	36,965	38,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,726	3,622
退職給付に係る調整累計額	△180	△160
その他の包括利益累計額合計	2,545	3,462
純資産合計	39,511	41,966
負債純資産合計	66,126	67,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	24,316	25,054
売上原価	15,023	15,231
売上総利益	9,292	9,822
返品調整引当金繰入額	3	△0
差引売上総利益	9,288	9,822
販売費及び一般管理費	7,956	7,949
営業利益	1,332	1,872
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	173	102
不動産賃貸料	66	66
その他	25	34
営業外収益合計	264	204
営業外費用		
支払利息	10	7
不動産賃貸費用	57	59
その他	74	15
営業外費用合計	141	83
経常利益	1,455	1,993
税金等調整前四半期純利益	1,455	1,993
法人税、住民税及び事業税	548	297
法人税等調整額	△367	53
法人税等合計	180	350
四半期純利益	1,275	1,643
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,275	1,643

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,275	1,643
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	896
退職給付に係る調整額	43	20
その他の包括利益合計	△70	916
四半期包括利益	1,204	2,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,204	2,559

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,455	1,993
減価償却費	1,174	1,142
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32	△63
受取利息及び受取配当金	△173	△103
支払利息	10	7
売上債権の増減額(△は増加)	△1,852	△1,475
たな卸資産の増減額(△は増加)	693	△1,223
仕入債務の増減額(△は減少)	888	510
未払消費税等の増減額(△は減少)	395	△663
その他の負債の増減額(△は減少)	1,890	490
その他	223	89
小計	4,674	706
利息及び配当金の受取額	172	103
利息の支払額	△9	△6
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	53	△1,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,891	△702
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△300
有価証券の売却による収入	—	500
投資有価証券の取得による支出	△200	△51
投資有価証券の売却による収入	500	10
有形固定資産の取得による支出	△558	△316
無形固定資産の取得による支出	△40	△269
その他	59	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,200	—
長期借入金の返済による支出	△404	△375
自己株式の純増減額(△は増加)	7	—
配当金の支払額	△195	△195
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,791	△570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,859	△1,651
現金及び現金同等物の期首残高	5,462	14,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,321	13,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間より、当社の特定子会社であったあすかActavis製薬株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	22,020	2,295	24,316	—	24,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	21	21	△21	—
計	22,020	2,317	24,337	△21	24,316
セグメント利益	2,405	122	2,527	△1,195	1,332

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,195百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客への売上高	22,705	2,348	25,054	—	25,054
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	24	24	△24	—
計	22,705	2,372	25,078	△24	25,054
セグメント利益	3,040	96	3,137	△1,264	1,872

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、動物用医薬品、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益の調整額△1,264百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 主力品の売上高

主 力 品 の 売 上 高  
(平成30年3月期 第2四半期実績)

(単位:億円)

品 目 名	前 期 平成29年3月期		当 期 平成30年3月期		対前年同四半期 増減率 (%)
	第2四半期 実績	年間実績	第2四半期 実績	年間見込	
高血圧症治療剤 カンデサルタン※	63.3	127.5	68.4	135.5	8.2
甲状腺ホルモン剤 チラーゼン	28.1	54.5	26.3	54.0	△ 6.2
高脂血症治療剤 リピディル	22.1	44.1	22.7	43.9	2.6
LH-RH誘導体 マイクロカプセル型徐放性製剤 リュープロレリン	19.1	38.4	20.7	41.1	8.7
前立腺癌治療剤 ビカルタミド	9.4	17.8	8.5	17.5	△ 9.3
高血圧症治療剤 アムロジピン	8.6	16.7	8.4	16.4	△ 2.6
緊急避妊剤 ノルレボ	5.9	11.4	6.2	12.5	6.1
抗甲状腺剤 メルカゾール	5.9	11.4	5.7	11.3	△ 3.9
プロトンポンプ阻害剤 ラベプラゾール	5.0	9.5	4.6	9.0	△ 7.5
経口避妊剤 アンジュ	4.8	9.3	4.6	9.0	△ 4.6
難吸収性リファマイシン系抗菌薬 リフキシマ	-	1.4	3.3	14.5	-

※ カンデサルタン配合剤を含む

## (2) 臨床開発状況

臨床開発状況

(平成29年11月現在)

平成29年11月6日  
あすか製薬株式会社  
東証市場第一部  
コード番号 4514

区 分	品 名 (開発番号)	物 質 名 (一 般 名)	領 域・効 能	備 考
PhaseⅢ	(CDB-2914)	選択的プロゲステロン受容体調節剤	子宮筋腫	Laboratoire HRA Pharma,SA (フランス)より導入
Phase I	(AKP-501)	遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン(rFSH)	不妊症	JCRファーマ(株)からの導入および 共同開発